

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くものいえ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援の経験者が多数在籍しております。	園との信頼関係作りを最優先しております。 一方的な助言にならないよう配慮しクラス全体が過ごしやすくなるよう環境を整えてまいります。 また、現場で使える具体策を提示しております。	支援の質を均一化・可視化する取り組みや専門性向上のための研修体制を充実を図っております。
2	関わりのある訪問施設が多く実績があります。	施設ごとの特性を尊重した関わりや継続的な関係作りを重視しております。また、実績を生かした具体的、実践的支援情報共有の徹底しております。	施設ごとの課題や要望を整理し、支援事例の蓄積、共有の強化をし、継続的なフォローを体勢の構築をしてまいります。
3	個別支援・小集団から集団生活への適応能力を養います。	1人ひとりの特性に合わせた段階的支援を行うことで、個別支援での成功体験を集団につなげる、また視覚的構造化支援の活用をし、集団での困り感を事前に想定できるよう努めてまいります。	段階的支援計画の明確化することで、小集団活動の糧の向上を図り個別支援と集団場面のつながりを強化してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との連携、調整の難しさを感じております。	関係機関・施設数が多いことによる調整負担や支援方針役割認識の違い、また情報共有のタイミング、方法の難しさを感じております。	連携の窓口・役割の明確化や情報共有ツール、様式の統一を図り事前共有、事後フォローの徹底をしてまいります。
2	支援員の専門的スキルの必要性を感じております。	支援内容の高度化・多様化により一律の支援では、対応が難しいケースが増加しており、専門分野ごとの知識・経験の差を感じております。	体系的な研修体制の整備や実践と振り返りを結びつける仕組み作り、経験者によるフォロー・指導を行ってまいります。
3	訪問先とのカンファレンスの重要性を感じております。	カンファレンスの頻度や時間の確保が難しく、情報共有の不十分さを感じており、参加者間での意見の統一の難しさを感じております。	定期的なカンファレンスの仕組み化や情報共有ツール・記録方法の統一を図り、参加者間の合意形成を意識してまいります。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	くものいえ				公表日	2026年 1月 26日				
					利用児童数	2025年	11月	30日	回収数	10
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			7	教具、教材についてはよくわからない。特に聞いていないのでわからない。教具教材のことはお話を伺ったことがないので分かりません。		日常場面で様子を観察し、課題点や支援の方向性を把握することを重視しています。今後も支援の目的やないようについて、分かりやすくお伝えして参ります。		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9			1	面談できる個室があって良い。どのような方法でフィードバックしているのかわからない。		当事業所では、保護者の方や関係機関の方が安心してご相談いただけるよう、プライバシーに配慮した個室の面談室を設けています。周囲の声や視線を気にすることなくお話をいただける環境を整え、個人情報の保護に十分配慮しながら面談を行っていきます。		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10				訪問支援を開始する際に、一通り説明があった。説明はされている。		事業の目的について、初回面談等で分かりやすく説明を行っております。今後も継続して丁寧な説明を行ない、保護者の理解を深められるよう努めて参ります。		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10				相談した際に決めた頻度で支援して下さっている。頻度は多くはないが目的を持ってやってきている。		保育所訪問等支援の頻度や時間については、事前に保護者と相談の上で決定し、合意をした内容に基づいて支援を実施しております。今後も、必要に応じて見直しを行ないながら適切な支援に努めて参ります。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10				適切な人数で支援して下さっていると思う。一人で問題ないと思う。		こどもの状態や支援内容に応じて、適切な職員体制で支援を行っております。今後も支援の目的や状況に応じて、必要な人員配置を検討し、質の高い支援の提供に努めて参ります。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	9			1	こどもの様子や変化に応じて柔軟に支援内容を調整してくれて安心する。まだ頻度が少ないので何とも言えない。		こどもの状態や支援内容に応じて、適切な職員体制で支援を行っております。今後も支援の目的や状況に応じて、必要な人員配置を検討し、質の高い支援の提供に努めて参ります。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	10				支援計画を作成するにあたり、しっかりと面談してくれるので良い。作成されていると思う。		個別支援計画書の作成にあたっては、家族の意向を大切にしつつ、こどもの状況や課題について多面的な視点で整理を行っております。また、計画内容については、担任の先生へ共有し、支援の方向性が伝わるよう努めております。		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	8			2	訪問した際に園の先生と話してこども支援計画に組み込んでくださっている。どちらかと言えば家族の意向で作成したものだが担任には伝わっていると思う。		個別支援計画書の作成にあたっては、家族の意向を中心に整理しつつ、担任先生へ内容を共有し、支援の方向性が伝わるよう努めています。今後は、訪問先の担任の先生の意向をより積極的に把握し、計画へ反映できるよう連携の強化を図ります。		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	8	1		1	ガイドラインの内容を把握できていないので確認したいと思う。設定されていると思う。		保育所訪問支援ガイドラインに示されている提供すべき具体的内容を踏まえ、保育所訪問支援計画書において具体的な支援内容を設定しております。		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	9			1	支援計画に沿った支援かつ子どもに寄り添った支援をしてくださり、子どもの成長を感じる。		個別支援計画書に基づき、こどもの状態や発達段階に寄り添った支援を行っております。支援を通して子供の成長が感じられるよう、計画書に沿った継続的で丁寧な支援の提供に努めて参ります。		
11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	9	1			実施している場面を見たことがないが、子どもや園の先生の様子から配慮されている。事前に訪問先施設に入って位置を確認したりしている。		保育所訪問支援の実施にあたっては、訪問先施設の状況や保育の流れに配慮しております。直接支援場面を見ていただく機会が少ないため、支援内容や配慮事項について、より分かりやすく保護者へ共有して参ります。			

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			わからないことがないくらい説明して下さった。 丁寧な説明があった。 詳しく説明して下さったのでわかりやすかったです。	事業所利用開始時に、運営規程や利用者負担等について丁寧な説明を行っております。利用者が理解しやすい説明を心掛け、安心して利用できるよう努めて参ります。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			丁寧に説明して下さるのでありがたい。 支援計画書の内容を確認しながら説明を受けた。	個別支援計画書を保護者に示しながら、一つひとつ内容を確認し、支援のねらいや方法について丁寧に説明を行っております。保護者が理解・納得した上で支援を受けられるよう、分かりやすい説明と丁寧な対応を心掛けて参ります。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10			以前行われたペアレントトレーニングに参加し、とても勉強になった。 今まで1回だけ案内があったので参加したがもう少し機会が増えると良い。	家族支援の一環として、ペアレントトレーニングを実施しております。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	10			支援の様子も詳しく教えて下さるし、こちらから家庭での様子も伝えやすい環境でありたい。家族支援で子どもの発達の状態を伝えることができています。	支援の都度、こどもの様子や支援内容について丁寧に共有するとともに、保護者から家庭での様子を伝えていただきやすい環境づくりに努めて参ります。子どもの健康や発達、課題について共通理解が深まるよう、継続的な情報共有を行なって参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		1	面談以外でも毎回のフィードバック時に相談すると親身になって聞いて下さる。支援は行われている。 いつも園での様子を細かく教えて下さるのでありがたいです。	定期的な面談に加え、支援後のフィードバック時にも子育てに関する相談の機会を設け、保護者の思いに寄り添いながら助言を行っております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			共感的に支援して下さるので、いつも前向きになれる。 ネガティブなことをこちらが話しても気持ちを理解した上で支援してくれる。いつも親身になって下さるので助かります。	職員は、こどもや保護者の思いに寄り添い、共感的な姿勢を大切にされた支援を行っております。保護者が前向きな気持ちで子育てに向き合えるよう、信頼関係を大切にされた支援の継続に努めて参ります。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1	何かあったら声をかけて下さるし、掲示もされているので周知しやすいと思う。家族支援の場を迅速かつ適切に設けてくれて対応してくれる。	保護者が安心して相談できるよう、日頃から声かけを行ない、相談の機会があることの周知にも努めております。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9		1		常に意見や相談がしやすい環境が整っていると思う。 保育所訪問のフィードバックは個室で本人のいないところでやってほしいと思う。	こどもや保護者との意見の疎通や情報伝達が円滑に行えるよう、日頃から相談しやすい雰囲気づくりと丁寧な関わりを心掛けております。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8			2	園の先生との連携はすぐ取れていると思う。先生にアドバイス等をしている話は聞いたことがあるがどの程度なのかわからない。	訪問先施設からの相談に対して、担任先生と連携を図りながら、状況に応じた助言や支援を行っております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	7		1	1	フィードバックの際に園の先生と話した内容も共有してくれる。どういう方法でフィードバックしているのかはわからない。	保育所訪問支援実施後には、カンファレンスを毎回行ない、支援内容やこどもの様子について共有しております。関係機関との連携を大切に、共通理解のもとで支援を進めて参ります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	9		1		きちんとフィードバックをして下さるので訪問支援した際の様子を詳しく知ることが出来る。 個別支援が終わった後に一緒にフィードバックされたが簡易的だった。 毎回共有の時間も設けて下さるので、ありがたいです。	保育所訪問支援実施後には、保護者に対して支援時の様子や内容についてフィードバックを行っております。短い時間の中でもこどもの様子や支援内容が詳しく伝えられるよう努めて参ります。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7			3	インスタで教室や支援の様子を発信して下さっているのですねに情報を把握出来る。ホームページ等を見ないのでわからない。	当事業所では、ホームページやSNS等を通じて、活動の様子や連絡体制、業務に関する自己評価の結果について、こどもや保護者の皆さまに分かりやすくお伝えするよう努めております。SNSへの掲載にあたっては、事前に確認を徹底し、個人が特定されないよう十分に配慮したうえで発信を行っております。

非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			<p>インスタに掲載する際は必ず確認して顔を隠してくれたり配慮がある。特に問題ないと思う。</p>	<p>当事業所では、個人情報の取扱いについて特に慎重に対応しており、写真や情報の掲載時には事前に確認を行うなど、個人が特定されないよう十分に配慮しております。関係法令やガイドラインを遵守し、子どもや保護者の皆さまが安心してご利用いただけるよう、個人情報保護の徹底に努めて参ります。</p>
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	1	1	<p>どのような連携を取っているかはよくわからない。訪問先施設とどのように連携しているかはわからない。</p>	<p>緊急時の対応については、訪問先施設と事前に連絡体制や対応方法を確認し、状況に応じて速やかに連携できるよう取り組んでおります。訪問先施設との具体的な連携内容や緊急時の対応体制について通信や説明の機会を通じて分かりやすくお知らせし、保護者の皆さまに安心していただけるよう努めて参ります。</p>
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			<p>常に安全に配慮されていると思う。安全の確保はされていると思うが、計画の周知がされているかはわからない。</p>	<p>当事業所では、子どもの安全確保を最優先とし、安全管理に関する計画を基に、日々の支援において常に安全への配慮を行なっております。</p>
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10			<p>特に嫌がることなく、支援を受けることが出来ている。特に嫌がっていないと思う。「先生にあったよ」といつも嬉しそうに話してくれます。</p>	<p>訪問支援においては、子どもの気持ちや様子を大切にしながら、安心して関わられるよう配慮した支援を行なっております。</p>
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	2		<p>幼稚園での様子から子どもの課題が明確になり、成長に繋げることが出来ている。頻度が少ないのでまだどちらとも言えない。毎月園に訪問して下さって園での様子を詳しく教えて下さって自分ではいけないので助かっています。</p>	<p>園での状況を丁寧に把握し、ご家庭では見えにくい子どもの姿や成長を分かりやすくお伝えしながら、保護者の皆さまと連携した支援に努めて参ります。</p>

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 1月 26日

くものいえ

利用児童数 27 2025年 11月 30日 回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1			
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	1			
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・月に2回見学に来ているが、1度でも良いのでは…と感じる。カンファレンスも月に2度だが、1度、または書面でのやり取りで出来ると良いです。(時間を使い、クラスを開けることになる)</p> <p>・いつもありがとうございます。お陰様で本人の成長にもつながっていると感じております。今後ともよろしく願います。</p> <p>・いつもお世話になり、ありがとうございます。訪問する前日に電話連絡があること、困りごとに対してアドバイスをくださり助かっています。これからも、よろしく願います。</p> <p>・毎回、療育で取り組んでいる課題の内容や本児の様子、友だちとの関わり方や保護者の意向等の情報共有して下さるので、それを踏まえて園でも同じように対応することが出来る点は、とても良いと感じる。</p> <p>お忙しい中、保育所等訪問支援の当日の朝に連絡をくださるので、本日の登園の有無を含めて園でも再確認ができるので安心である。いつも丁寧に対応してくださり有難いです。</p>					<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>訪問先からのご意見を踏まえ、訪問回数やカンファレンスの実施方法については、支援の必要性や状況に応じて柔軟に検討し、必要に応じて書面での情報共有を取り入れるなど、訪問先の業務負担にも配慮した連携を行って参ります。</p> <p>一方で、本人の成長につながっている点や、事前の連絡、困りごとへの助言、療育内容や本人の様子、保護者の移行等を丁寧に共有している点について評価をいただいていることから、これからの取り組みは今後も継続し、園との共通理解を図りながら一貫した支援が行えるよう、より一層丁寧な連携に努めてまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くものいえ		公表日		2026年 1月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 運営・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・ボード等大きい物は使わずにメモが取れるようにきをつけている。 ・間接支援を行っているため、特に教材等は準備をせず、園の活動に邪魔にならないよう配慮している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・限られた職員数の中でも、訪問先や支援目的を明確にしたうえで効率的な支援が行えるよう調整している。 ・園や関係機関との連携を大切に、短時間でも効果的な助言が行える体制づくりを心がけている。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の支援や会議の中で、職員が気づいた点や意見を共有できる機会を設け、業務改善に活かしている。 ・ヒヤリハットや振り返りを通じ、計画・実行・評価・改善を意識した取り組みを行っている。 ・試行錯誤している状況だが記録の時間短縮に努力している。	職員が関わりながら業務改善に取り組んでいるが、より効果的な改善につながるよう、引き続き取り組みを進めていく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・頂いた意見や要望に対して共有して改善できている所もある。 ・保護者向け評価表を通じて、保護者等の意向や意見を把握する機会を設け、その内容を職員間で共有し、日々の支援や業務改善に活かしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・記録、FB等訪問1件に対する行う業務をできるだけ効率よく行うようにしている。 ・日々の業務のなかやミーティング等を通じて、従業員の意見や気づきを共有する機会を設け、その内容を業務改善の見直しや改善につなげている。	職員の声を大切にしながら業務改善を行っているが、引き続き取り組みを充実させていく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・園からの要望等に答えられるように訪問の研修に参加し共有を行った。 ・第三者による外部評価を実施し、その評価結果を職員間で共有するとともに、業務の見直しや改善につなげている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修に参加し他事業所の情報から学びもあった。 ・職員の資質向上を図るため、外部研修の受講を確保し学びを業務や支援に活かせるように工夫している。		
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・事前に聞き取りや観察を通じてアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズ、課題を整理した上で、保育所訪問支援計画書を作成するよう工夫している。		
9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・関係職員間で子どもの状況や支援内容について意見交換を行い、共通理解を図ったうえで、子どもの最善の利益を考慮した保育所訪問支援計画書の作成に努めている。	関係職員が連携して計画を作成しているが、よりよい支援につなげるため、引き続き話し合いを重ねていく。		
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・初回訪問時に児発管が園と話し合い作成している。 ・事前の打ち合わせや訪問時の情報共有を通じて訪問先施設や担任等の意向を把握し、共通理解のもとで保育所訪問支援計画書を作成している。			

適切な支援の提供	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・訪問職員は特に支援計画を踏まえ、方向性を考える際に取り入れている。 ・計画書の内容を職員間で確認・共有し、支援の目的や方法を統一することで、計画に基づいた支援の実施につなげている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・適宜、確認し子どもの状況を観察している。 ・標準化されたアセスメントと日常場面での行動観察を組み合わせ。こどもの適応行動状況を継続的に確認している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・園によって違いはあるが基本的に共通した方向で行っている。 ・ガイドラインの内容を踏まえ、支援の目的や方法がわかりやすくなるよう、具体的な支援内容を計画に明確に記載するよう工夫している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・共有の機会が少ないと思うので今後は改善していけると良いと思う。 ・保育所等訪問支援計画について、関係職員間で内容を共有し、共通理解のもと、計画に沿った支援が行われるよう工夫している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・担当制のため児発管と必要な事項を確認、相談するようにしている。 ・支援開始前に職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認することで、共通理解のもとチームで連携した支援が行われるよう工夫している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	・訪問後、共有し確認・相談をしている。 ・支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の支援を振り返るとともに、気づいた点や課題を共有し、今後の支援に活かせるよう工夫している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	・園の方針等を踏まえて、お伝えできるように関係性を深めながら進めていくようにしている。 ・事前に情報共有や打ち合わせを通じて、訪問先施設の理念や支援方法を理解したうえで、現場に即した支援を行うよう心掛けている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	・リタリコの入力と園の報告書を作成し、共有、確認しながら行っている。 ・日々の来所支援の記録を職員間で共有し、支援内容の検証や見直しを行うことで、支援の質の向上につなげるよう工夫している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・児発管がモニタリングを行い見直しをしている。 ・定期的に保護者や訪問先施設と子供の状況や移行の確認、モニタリングを行い、その結果をもとに保育所等訪問支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っている。	
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との京義には、日頃からそのこどもの支援に関わり、状況を十分に理解している職員が参画し、適切な情報共有や意見や意見交換が行えるよう工夫している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・保護者を通じて心理士や医師による診断内容等の情報共有し、地域の保健・医師・福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援につなげている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・必要があれば随時情報共有等行っている。 ・情報共有にあたっては、保護者を通じて小学校や特別支援学校と支援内容等の共有を図り、相互理解につなげている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	・支援の質の向上を図るため、必要に応じて専門家や専門機関から助言を受けるとともに、職員が外部研修に参加できる機会を確保し、学びを支援に活かすように工夫している。	専門家の助言や研修を活用しているが、引き続き支援の質向上に生かしていく。

との連携	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	・現時点では協議会子ども部会等への参加実績はないが、地域の動きや情報に関心を持ち、今後は協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加を検討していく姿勢を大切にしている。	現在は参加実績がないが、今後は地域との連携強化に向けて検討を進めていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・保護者とフィードバックの中で共有し、同じ方向性を意識できるようにしている。 ・日頃から保護者とこどもの様子や状況について情報伝え合い、発達状況や課題について共通理解を持ちながら支援を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・家族の対応力向上を図るため、ペアレントトレーニングを実施し、家族での関わり方法について保護者と共有する機会を設けている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・運営規程や利用者負担等について、契約時に丁寧に説明を行い、保護者が内容を理解しやすいよう分かりやすい説明を心がけている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	・訪問先施設に対して、事業の趣旨や訪問支援も目的について事前に丁寧に説明を行い、共通理解のもとで訪問支援が行えるよう工夫している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・保育所等訪問支援計画の作成にあたっては、こどもや保護者の意思を尊重し、こどもの最善の利益を優先的に考慮する観点から、児童発達支援管理責任者が保護者と面談を行い、こどもや家族の意向を確認しながら丁寧に確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	・計画書の内容を一つひとつ説明し、不明点や質問に丁寧に対応することで、保護者が納得した上で同意を得られるよう努めている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	・訪問支援後のフィードバックの中で、家族から子育てに関する相談があった場合には丁寧に話を聞き、状況に応じた助言や支援を行うように工夫している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・現時点では父母の会や保護者同士・きょうだい同士の交流の場は設けていないが、個別支援を重視する事業所の特性を踏まえつつ、保護者同士が安心して交流できる機会について、今後の実施を検討していく。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・こどもや保護者から相談や申し入れについては、日頃から相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応している。内容に応じて職員間で情報共有を行い、継続的な支援につなげている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・ブログやインスタグラムを活用し、発信頻度を増やすとともに、活動の様子や支援内容が保護者に伝わりやすいよう内容の充実を図っている。あわせて、個人情報やプライバシーに十分に配慮しながら情報発信を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報の取り扱いについては十分に留意し、書類の管理方法や情報共有の範囲を明確にするとともに、職員間で定期的を確認を行い、漏えい防止に努めている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達において、分かりやすい言葉や表現を心がけ、必要に応じて視覚的な資料を用いるなど、個々の状況に応じた配慮を行っている。	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	・訪問支援に加え、訪問先からの相談にも適切に対応できるよう体制を整え、相談内容に応じて職員間で共有・検討を行い、ひつような助言や支援につなげている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	・訪問前後には訪問先施設とカンファレンスを行い、えんが多忙な場合でも立ち話や後日の時間を活用するなど、継続的な連携が図れるよう工夫している。	

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	・訪問支援の実施後には、家族等へできるだけ早くフィードバックを行い、支援内容やこどもの様子が分かりやすく伝わるよう丁寧な共有を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報の取り扱いについては、保護者の意向も確認しながら必要最小限の情報共有を行い、守秘義務に十分配慮している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	・園で取り組めること等、できるだけ具体的にお伝えしている。 ・訪問先施設の考えや方針を尊重しながら相談に応じ、信頼関係を大切にしつつ専門的助言を行っている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・各種マニュアルについて職員間で内容を確認し、実際の場面を想定した訓練を行うことで、緊急時に適切に対応できるよう工夫している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し、それに基づいた研修や訓練を実施するとともに、日常の支援においても安全管理を意識した対応を行うことで、安心して支援を受けられる環境づくりに努めている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・ヒヤリ・ハットが生じた際には記録を徹底し、職員間で内容を共有した上で、支援方法や環境面の見直しにつなげている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・定期的に虐待防止研修を行い、職員一人ひとりが日常の支援の中で不適切な関わりが起きないように意識を高めている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・身体拘束を行う可能性がある場合には、組織として判断し、事前に保護者へ丁寧な説明を行った上で同意を得て、児童発達支援計画書に記載している。